ブロッコリー

ブロッコリーはケールが祖先にあたるアブラナ科アブラナ属の植物で、アクがほとんどなく、ほのかな甘みがあります。また、同じくキャベツの仲間であるカリフラワーより栄養価が高いのが特徴です。



平成15年発行: JAハリマ「活き活き健康野菜づくり」より

作型

つぼみを食べる野菜の代表格で、花が咲かないうちに収穫する。 追肥と灌水をこまめに行い、側枝も収穫すると良い。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品	種	名
夏まき	11	11)—	7				グリエール グリーンラ:	・ハイツ ンド	/·緑嶺·

○:種まき : △:植え付け ■ : 収穫

畑の準備・定植

土づくり a当たり

肥 300kg セルカ(有機石灰) 10kg 植え付け 1ヶ月前に土と良く混合

元 肥 a当たり

 野菜専用肥料
 5 kg

 醗酵鶏糞
 40kg

 畝立時施用

■苗の準備

- (1)トロ箱などに条間 $5\sim6$ cmで、すじ状にまく。
- (2)うすく覆土 (5 mm) し、鎮圧する。発芽まで新聞紙をかける。(新聞紙は 発芽後すぐに取り除く)
- (3)発芽したら2㎝に間引き、本葉2枚頃、ポットに移植する。(9㎝ポット)
- (4)種まき後35~45日位、本葉5~6枚の苗を定植する。

灌水:午前〜日中に行う。追肥は液肥500倍液を灌水代わりに散布。 床土の作成: 1 ㎡当たり完熟堆肥 2 kg、BMようりん50g、セルカ150g、 野菜専用肥料100g

- 1条植え:畝幅70~80cm 株間:30~40cm
- 土寄せしやすいように低く植える。
- 植え穴に灌水してから植え付ける。(乾燥しやすい場合)

支柱立て

•草丈が高くなるので、30cm位伸びたら支柱を立てる。

追肥・土寄せ

- 定植後15~20日: 追肥し、土寄せを行う。
- 花蕾が見え始めた頃: 追肥し、土寄せを行う。
- わき花蕾を収穫する場合は頂花蕾収穫後:追肥し、土寄せを行う。 (追肥の量:畝肩にそれぞれ野菜専用肥料 7 kg/a)



病害虫名	耕種的防除	薬 剤 防 除				
アブラムシ類	光反射テープ 光反射マルチを用いる	スタークル顆粒水溶剤 2,000〜3,000倍 3日前まで2回以内				
アオムシコナガ	幼虫を捕殺する 育苗期に寒冷紗またはパスライト等で覆う	アファーム乳剤 1,000~2,000倍 3日前まで3回以内				

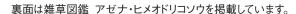
収穫

- 蕾が米粒大になった頃(直径15cm位)
- 花が咲かないうちに収穫する。
- 側枝が伸びて先端に蕾をつけるので、これも収穫できる。



追肥

土寄せ



雑草図鑑 アゼナ・ヒメオドリコソウ 6 月の農作業

アゼナ

種子から発生する一年生草本で田の畦ぎわ、水深 が浅く土面の露出しやすいところや湿った畑に多 い。5月上旬から発生しはじめ、6月ころが最も盛ん になる。開花は7月下旬から10月。水管理が不十分 な水田でアゼナやアメリカアゼナの多発性が目立っ ている。湿田より乾田などに多く、陽地性で、水田 の畦畔ぎわなどに多く、とくに浅水条件で発生が旺 盛である。小型の雑草ではあるが、多発生するとイ ネの初期生育を著しく抑制する。

防除のポイント

アゼナは深水にすると発生や生育を抑制できる が、中干し後に大発生することがある。通常の水稲 用除草剤で防除する。発生期間が長いので、必要に 応じて中期または後期除草剤を使用。後期除草剤と しては、クリンチャーバスME液剤、バサグラン粒 剤で防除する。近年、特定成分に抵抗性を示すアゼ ナが出現して問題になっている。



葉腋から長い花柄を出して咲くア





アゼナ(芽生え期)

アゼナ(生育中期)

ヒメオドリコソウ

畑地、土手などいたるところに群生するシソ科の 越年草で、幼植物はホトケノザに似ている。茎は四 角柱状で根元で分枝している。高さ20~50cmで、 葉は対生し上面は網目状にへこみ縮んで見える。茎 上部に葉が密につき、赤紫色に色付く。日陰や肥沃 な土地では巨大化する傾向にあり、オドリコソウは 葉の段同士が離れていますが、ヒメオドリコソウは 段の間隔が狭く草丈上部に密集する姿になる。

防除のポイント

翌年の発芽を抑えるため、果実が熟す前に抜き取 りや刈り取りを行う。発生してしまった場合は、移 行性の茎葉処理剤ラウンドアップマックスロード (作物によって使用方法が異なるため要確認)を生育 期に散布する。





ヒメオドリコソウ(芽生え期)



ヒメオドリコソウ(花)